

「ご近所のみなさんこんにちは、日本共産党です。この場所をお借りいたしましたして、政策の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力のほど、よろしく願いいたします。」

今、暮らし向きがたいへんきびしくなっています。こういう時こそ、住民のくらしを守るといって、地方自治体本来の役割が求められています。ところが茂原市は、市民生活そっちのけで、豪華庁舎に百億円、活用の見通しのない塩漬け土地が56億円など、ムダ使いを重ね、市民1人当たり100万円の借金をつくってしまいました。

その反省もなのまま、ゴミ袋代の大幅値上げ計画など、ムダ使いのツケを回す、市民いじめの政治が行われています。しかも許せないのは、親を亡くした子供たちのための、茂原市全体でわずか3百万円の遺児手当を廃止し、お年寄りの白内障眼内レンズの助成金も廃止、難病の方の命づなである補助金さえ削減、などなど、弱いものいじめが猛烈にはじまっていることです。

こうした悪政を積極的に支えているのが、日本共産党を除く自民・保守、公明、民主のオール与党です。公明党などは、今年度の市民いじめの予算をほめたたえているほどです。

みなさん、市は口を開けば「お金がない」と言いますが、茂原市民の払っている住民税は近隣市町村の中でトップです。お金がないのではなく、税金の使い方が問題なのではないでしょうか。例えば、先ほどもお話ししましたように、市は300万円の遺児手当を全額カットしてしまいました。市長と市会議長の公用車のリース代が300万円です。こういう所こそカットして、弱いものを守るのが政治のやるべきことではないでしょうか。

みなさん、日本共産党はこれまで、ムダ使い市政に対してきびしく対決しながら、中学校の完全給食など、市民のみなさんの願いを実現するためにがんばってまいりました。これからも、次のお約束を実現するために、全力でがんばります。

まず第一に、ゴミ袋代値上げをやめさせます。毎日使うものから税金を二重取りするようなことは許しません。値上げ反対の署名運動も行っています。声を合わせて値上げをストップさせましょう。

二つ目は、国保税を一世帯当たり一万円引き下げます。市の国保税が高いのは、茂原市が国民健康保険に市独自の補助金を一円も出していないからです。こうして高い保険税を市民に押しつけながら、今年度からは、払いたくても払えない人、本来社会保障で守るべき人から、容赦なく正規保険証を取り上げようとしています。命にかかわる問題です。保険証の取り上げをやめさせ、何としても引き下げを実現させましょう。

三つ目は、24時間救急医療体制や、乳幼児医療費を小学校入学前まで無料にするなど、医療と子育て支援を強めます。

みなさん、日本共産党の新人は、これまでも団地自治会長として、「子供たちの声が聞こえない、年寄りを大切にしてほしい」という声に応え、夏祭りでは子供たちの喜ぶ花火大会をやったり、敬老の日にお赤飯を配ったりする活動で喜ばれました。住みよい団地をめざして、自分たちでやれることは自分たちでやろうと、清掃作業や防犯パトロールの先頭に立つてがんばりました。

そして困った人がいればとことん尽くす苦労人、住民のねがいを真正面から受け止めてがんばれる人です。先日も、歩道の整備問題で、直接市長に申し入れ、改善を約束させるなど、行動力も抜群です。日本共産党が現職2議席と、新人を加えた3議席になれば、オール与党議会の中でも、日本共産党単独で議案を出せるようになり、市民の願いを実現する確かな力となります。

また、茂原市議会には4つの委員会がありますが、共産党議員のいない委員会では、ムダ使いと市民いじめの計画が、ろくに審議もされずに決められています。日本共産党が3議席になれば、こうしたことをきびしくチェックできるようになります。

そして何より、市民のみなさんの声がまっすぐ届く市政に変えることができます。どうか日本共産党を3議席に躍進させてください。ご支援をよろしくお願いいたします。

最後に、真実を伝え、読めば勇気がわく「しんぶん赤旗」のご購読をお願いいたします。この場での訴えを終わらせていただきます。長い間のご清聴・ご協力、ありがとうございました。